
日付： 2004年 9月17日
提出元： 清水（KDDI）、岡崎（アッカネットワークス）
題名： アドホック会合報告
課題表対応 C.7.3、C.7.4

まえがき

本寄書は、課題7.3「局設置のDSLからビル設置のDSLへの干渉軽減方法を検討する」並びに課題7.4「ビル設置のDSLから局設置のDSLへの干渉軽減方法を検討する」に関する第1回アドホック会合の結果報告である。

1. 第1回会合の概要

- (ア) 開催日時 2004年9月2日(木)
- (イ) 開催場所 TTC4F D,E 会議室
- (ウ) 出席会員(順不同、社名等略称)
コンピーナ:清水(KDDI)、サブコンピーナ:岡崎(アッカ)、
KDDI、NTT、NTT東、SBB、TOKAI、JANIS、イーアクセス、アッカ、
住友電工、NEC、富士通アクセス、コネクサント

2. 会合での合意事項

- (ア) アドホック会合のスキープの確認
ビル設置VDSLと局設置ADSL/VDSL間の干渉に関する技術資料の作成とする。
技術資料は拘束力を持たないが、実際に干渉問題が発生した場合に問題解決(事業者間の話し合い)のガイドラインとなるものを目指す。
- (イ) 作成する技術資料の内容、担当は別紙のとおりとする。
 - HomePNAは差し当たり将来課題とするが、提出された寄書によっては対象とすることを検討する。
 - 技術資料は、J1100.01第3版の一部(但し、TTC標準ではない)とすることを目標とするが、スペクトル管理SWGの決定に従う。
(注)事務局よりTTC標準ではなくとも標準の一部として編集される場合は標準化委員会の承認が必要との説明があった。
技術レポートとして作成される場合は専門委員会の承認となる。
- (ウ) 作業スケジュールを下記のとおりとする。
 - 9月30日 寄書の議論
 - 10月末 各章の原稿レビュー
 - 11月末 技術資料案のレビュー
- (エ) 寄書の提出方法と締め切り期日
スペクトル管理SWGのサイトにアドホック用フォルダを設ける。
締め切りは、会合2日前とする。

技術資料内容

1. VDSLの標準化状況
バンドプラン、PBOなどスペクトル管理関連事項について記述。
 - 1.1 TTCの状況
 - 1.2 ITU-Tの状況
 - 1.3 ANSIの状況

(執筆担当) NTT
2. 干渉のモデル

(執筆担当) ACCA NW
3. ビル設置VDSLから局設置ADSL/VDSLへの干渉
 - (ア) 干渉するケースと干渉量
 - (イ) PBOとその有効性
 - (ウ) その他の技術的回避手段

(執筆担当) CNXT、NEC
4. 局設置ADSLからビル設置VDSLへの干渉
 - (ア) 干渉するケースと干渉量
 - (イ) PBOとその有効性
 - (ウ) その他の技術的回避手段

(執筆担当) 住友電工、富士通アクセス、NEC
5. 干渉回避のガイドライン
回避対策が必要なケースと判定基準
(例) 干渉システムと被干渉システムの組み合わせ
電話局とビルとの距離

(とりまとめ担当) ACCA NW